

## 第40回 JASTA主催 SSTVアクティビティコンテスト

期間：国際標準時間の8月1日(火)0時～8月31日(木)24時

(日本時間 8月1日 9時～9月1日 9時まで)

参加資格：アマチュア無線の資格を持ち、SSTVの免許を受けている局。

運用周波数：3.5MHz帯以上で自局に免許された周波数帯

(電波法および郵政省令に定められた周波数帯で運用)。

空中線電力：免許された電力の範囲内

コンテストナンバー：RSV+001から始まる連番。連番の桁が足りなくなったら桁を増やしてください。

例えば信号レポートが595で、期間中20局目のQSOであれば、

コンテストナンバーは「595020」。

ポイント：可能なかぎり、自分の顔が写っている画像(手描きのイラストも可)に自局のコール

サインとコンテストナンバーを入れて送信する。完全なコンテストナンバー交換をもって

下記に示すポイント点とする。画像の白黒、カラーは問わない。コンテストでのQSOは、相手局と1対1とし、ラウンドQSOは認めない。海外局との交信もポイントとして認める。なお、同一局との交信は周波数にかかわらず一日一回のみ有効。

注意：同一日は、国際標準時間を基準として判定すること。時差の異なる海外局とのQSOにおいて、日本時間で日付が変わっていても国際標準時間で同一であればポイントとして認めない。

(1) 3.5～28MHz帯：1点 (7MHz帯は7.1MHz以上の周波数での交信を推奨します)

(2) 50～430MHz帯：2点

(3) 1200MHz帯以上：3点

マルチ：バンドに関係なく以下の項目をマルチとして計上できる。

(1) JAのエリア(10エリア)

(2) JAを除くDXCCエンティティ(JDはDXCCのエンティティとしカウントする)

DXCCエンティティ内のエリア(例えば、W1とW2の2エリア交信しても、Wとしての1マルチのみ)はマルチとしてカウント出来ません。

(3) 運用日数

1日の運用は1マルチとし最大10マルチ(10日以上での運用をしても10とする)。

総得点：(ポイントの和)×(マルチの和)。

例えば、14MHz帯で15局、50MHz帯で8局、430MHz帯で7局、

1200MHz帯で5局のコンテストナンバー交換した場合、交信ポイントは

$15 \times 1 + (8 + 7) \times 2 + 5 \times 3 = 60$ となる。

さらにマルチがJAの10エリア、DXCC 5エンティティ、運用日数12日の場合、

総得点は  $60 \times (10 + 5 + 10) = 1500$ となる。

エントリー部門：国内部門(J部門)：日本国内からのエントリー局

海外部門(S部門)：海外からのエントリー局

日本の局が海外カントリーから運用した場合この部門となる。

今回のコンテストで初めてサマリーを提出し初参加か否かの区別およびOM、YL(XYL)の区別も記入願います。

賞：各部門、上位3位までに賞状を送る。各部門参加局が10局に満たない場合は、1位にのみ賞状を送る。

またニューフェース賞を、今回のコンテストが初参加の申告があった局の中から、得点が1位の局に賞状を送る。

さらにYL(XYL)のエントリーがあった場合、その中で得点が1位の局にベストYL(XYL)賞として賞状を送る。

同一オペレータが、DXペディション等、国外で運用した場合は、JおよびSの2部門にエントリーができます。

ログの提出：ログはe-mailで提出をお願いします。

JASATが定めた書式のフォーマットで記入したサマリーおよびマルチに計上する交信のログを、下記のアドレスにe-mailで送付する。

コンテストルール違反、サマリシート記入不備の場合は書類不備として扱います。

サマリーシートの参加部門欄に、エントリー部門(J、またはS)、今回のコンテストが初参加か否かの区分、およびOM、YL(XYL)の区別を明記のこと。

JARLのコンテストサマリーに記入する場合、JAのエリア、DXCCカントリーのマルチは合計して、

バンドの欄に「エリア+DXCC」と追記しマルチプライヤーの欄に記入して下さい。また運用日数のマルチについては、バンドの欄に「運用日数」と追記し、マルチプライヤーの欄にコンテストで運用した日数を記入して下さい。

JASTAが定める書式については、JASTA事務局のホームページ(本ページ下端)

ログの締切：2017年9月30日のタイムスタンプ有効。これ以降は無効。

ログの提出先：e-mailの宛先

ja3wzt@mue.biglobe.ne.jp

- 注意点
- ・相手局を呼び出すときは、先に音声で呼び出し、応答を確認してから画像を送信するようにしてください。いきなり画像で呼び出すようなことは避けてください。
  - ・CQを送信する際は十分にワッチし、音声で周波数が使われていない事を確認してから送信してください。
  - ・同一局との交信はHF、VHFを問わず1日1回のポイントしか認めない。クロスバンドによる交信は認めない。
  - ・同一日は国際標準時間で定義する。
  - ・同時に2波以上の電波の発射によるものはポイントとしない。
  - ・ラウンドQSOを認めないので、実質少ないチャネルしか使用できない周波数帯では、長時間周波数を占有しないように運用して下さい。
  - ・バンドプランを遵守し、各局の自主的な判断で多くの局にチャンスが得られるように運用を心掛けてください。
  - ・コンテスト中、「自分の自画像」を送らない局との交信も得点として認めますが、可能な限り自画像を入れた画像で交信してください。

- ・参加者のみなさんの良識で、サマリシートの提出を、お願いします。
- ・サマリシートの内容が、不明な場合等にはログの提出を求めることがあります。

結果発表 : JASTA事務局のホームページ、CQ ham radio、QTC-Japan.com に結果を掲載。

その他 : 送信画像にJASTA のロゴマークを貼り付けて使用できるよう、JASTA事務局のホームページ上にロゴマークを置きますので、ダウンロードし積極的にご活用ください。

特定局だけとのナンバー交換を避けて多くの局との交信を、また1日でも多くの運用を楽しんでください。

今年も上記の通り1ヶ月間のコンテストを実施いたしますので、奮ってご参加ください。

JASTAコンテスト事務局